

平成 26 年度 東京都内湾水生生物調査 5 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 26 年 5 月 14 日に鳥類調査を実施した。天気は晴もしくは曇りで、気温 21.9～26.0℃、南寄りの風 3.7m/sec 以下であった。調査当日は大潮で、干潮が 10 時 41 分(13cm)、満潮は 17 時 18 分満潮(192cm)であった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	11:40-12:45	8:35-9:25	9:45-10:41
天候	晴れ	晴れ	曇り
気温(℃)	26.0	21.9	24.0
風向	南	-	南東
風速(m)	3.7	0.0	2.5
備考	アシ原ではオオヨシキリがさえずっていた。 人工渚の沖(三枚洲付近)に潮干狩りの人が立ち入っていたため、人工渚に鳥が移動した可能性が考えられる。	潮干狩りの人数が多かった。	干潟が広く干出していた。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった 鳥類上位 2 種	カワウ(236 羽) アジサシ(219 羽)	カワウ(851 羽) キョウジョシギ(34 羽)	コアジサシ(123 羽) カワウ(55 羽)
その他の 鳥類	カルガモ、スズガモ、カンムリカイツブリ、サギ類(ダイサギ等)、クロツラヘラサギ、バン、シギ・チドリ類(シロチドリ、ミヤコドリ、ハマシギ等)、ウミネコ、オオセグロカモメ、コアジサシ。	カルガモ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、キアシシギ、イソシギ、ハクセキレイ。	カルガモ、アオサギ、コサギ、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、ユリカモメ、ウミネコ、オオセグロカモメ。
備考	・汀線際には、カワウやカモメ類が休息。 ・汀線際や干潟では、ミヤコドリ、オバシギ、トウネン、ハマシギなどのシギ・チドリ類が採食。 ・重要種として、21 種を確認(クロツラヘラサギ、シロチドリ、ミヤコドリ、コアジサシ等)。	・第六台場や鳥の島では、800 羽以上のカワウを確認。 ・カワウとサギ類は樹上で繁殖しており、雛や幼鳥を確認。 ・重要種として、5 種を確認(ダイサギ、コサギ、キアシシギ、イソシギ、キョウジョシギ)。	・干潟では、カワウが休息。 ・シギ・チドリ類(コチドリ、シロチドリ、キョウジョシギ、チュウシャクシギ等)が干潟や護岸構造物上で採食。 ・コアジサシのジオロケータ(※後述)装着個体を確認。 ・重要種として、9 種を確認(シロチドリ、キョウジョシギ、コアジサシ等)。

●出現種と個体数

No.	目	科	種	5月			重要種 選定基準			
				葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	文化財*1 保護法	種の*2 保存法	環境省*3 RL	東京都*4 RL(区)
1	カモ	カモ	カルガモ	14	12	18				
2			スズガモ	12						留
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	3						留
4	カツオドリ	ウ	カワウ	236	851	55				
5	ペリカン	サギ	ゴイサギ		3					
6			アオサギ	4	30	11				
7			ダイサギ	29	3					VU
8			コサギ	12	7	14				VU
9		トキ	クロツラヘラサギ	1				EN		CR
10	ツル	クイナ	バン	1						VU
11	チドリ	チドリ	コチドリ	3		2				VU
12			シロチドリ	6		3		VU		VU
13			メダイチドリ	1		13				NT
14		ミヤコドリ	ミヤコドリ	35						EN
15		シギ	タシギ	1						VU
16			オオソリハシシギ	2				VU		EN
17			チュウシヤクシギ	5		2				VU
18			ダイシヤクシギ	1						CR
19			アオアシシギ	7						NT
20			キアシシギ	10	11	5				VU
21			イシシギ	1	1	3				VU
22			キョウジョシギ		34	35				VU
23			オバシギ	19						EN
24			トウネン	47						NT
25			ハマシギ	179				NT		NT
26		カモメ	ユリカモメ			1				
27			ウミネコ	37		6				
28			オオセグロカモメ	12		2				
29			コアジサシ	8		123		国際	VU	EN
30			アジサシ	219						
31	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ		1					
計 7目11科31種				27種	10種	14種	0種	1種	5種	22種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会, 2012)に従った。

*1文化財保護法:

*2種の保存法: 国際:国際希少野生動植物

*3環境省レッドリスト: EN:絶滅危惧 I B類, VU:絶滅危惧 II 類, NT:準絶滅危惧

参照: http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html

環境省自然環境局野生生物課. 2012年. 環境省第4次レッドリスト.

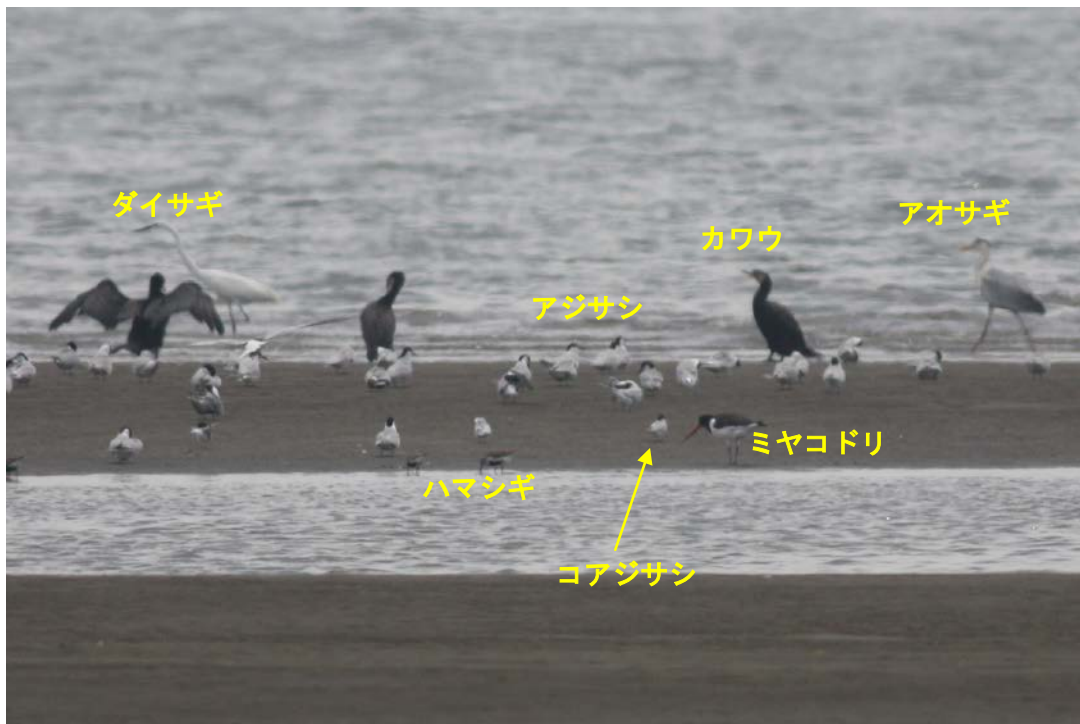
*4レッドデータブック東京2013: CR:絶滅危惧 I A類, EN:絶滅危惧 I B類, VU:絶滅危惧 II 類, NT:準絶滅危惧、留:留意種

東京都環境局自然環境部. 2013年. レッドデータブック東京2013~東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説編~.



クロツラヘラサギ(葛西人工渚)

アジア東部の極めて狭い範囲にのみ分布し、世界の個体数は約 2000 羽と言われている。日本には主に越冬のために飛来し、秋から春まで見られる。環境省レッドリストでは絶滅危惧 I B 類(EN)にランクされている。葛西人工渚では干潟の汀線際で採食していた。



カワウ、アオサギ、ダイサギ、ミヤコドリ、ハマシギ、アジサシ、コアジサシ(葛西人工渚)
干潟の汀線際には、多数のカワウやシギ・チドリ類、アジサシ類が休息や採食していた。



営巣中のカワウ(お台場海浜公園:第六台場)
第六台場などの樹上ではカワウが繁殖していた。雛や幼鳥を確認した。



ゴイサギとアオサギ(お台場海浜公園:第六台場)
サギ類(ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ)も繁殖していた。



カルガモの親子(森ヶ崎の鼻)
ヒナを連れて泳いでいた。



干潟で休息するコアジサシ(森ヶ崎の鼻)

種の保存法で国際希少野生動植物に指定されている国際的な希少種。環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類。日本には繁殖のために渡来し、春から秋まで見られる。写真の個体は左足にジオロケーター*が装着されていた(○印部分)。*ジオロケーター:日照時間を記録するデータロガー。日照時間から緯度経度を算出できることから、渡り経路解明の研究が行われている(<http://www.littletern.net/geolocator.html>)。